

研究機関名：東北大学

受付番号： 2015-1-320
研究課題名 大動脈弁狭窄症に対する人工弁の臨床的評価
研究期間 西暦 2014年 9月（倫理委員会承認後）～ 2017年 9月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（患者情報）
上記材料の採取期間 西暦 2008年 1月～2015年 8月
意義、目的 大動脈弁狭窄症に対する治療は、大動脈弁置換術が一般的に行われています。欧米に比べて体格の小さい日本人において、狭小大動脈弁輪を伴うことが最も頻度の高い問題であります。 狭小弁輪の大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術では、弁輪拡大術がなされることがありますが、症例によっては困難な場合もあり、拡大せずに弁置換が可能であればその方がよいこともあります。そこで本研究では、現在世界最小の人工弁である ATS 16AP の使用症例の成績を評価し、その妥当性を検討することを目的としています。
方法 東北大学を中心とした多施設共同研究です。2008年1月から2015年8月までの期間で、東北大学病院、および研究分担施設で施行された大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術症例の内、人工弁 ATS 16AP を使用した症例を対象としています。診療録に記載のある患者情報、採血検査結果、生理学的検査結果、予後に関する情報について集計し、評価を行います。
問い合わせ・苦情等の窓口 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学大学院医学系研究科心臓血管外科学分野 実施責任者：齋木 佳克 電話番号：022-717-7222